

学科名	コンサートイベント科
コース名	
授業科目	音楽基礎 3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	矢口 優太
実務経験	有
実務経験職種	コンサート制作 / ツアーマネージャー
授業概要	音楽ビジネスを基本テーマとして、国内外の事象や時事ニュース等の情報を通じ、変わりやすい市場に対峙しグローバルに生き抜くための考え方や知識を養い、時代を読み解いて新たな価値を創造するためのトレーニングとすることを目的とする。
到達目標	義務教育や高等教育では享受する機会の少ない社会共通のビジネス基礎を習得し、自分で考え出す力や市場にコミットする力を身につけることで、ウィズコロナやアフターコロナを生き抜くアイデアや意見を創出できるようになることを目標とする。
授業方法	オンライン形式 15分～20分間のオンライン講義を前半・後半の2つに分けて実施理解度を深めるため、講義を受講した後に設問へ解答。
成績評価方法	試験・課試験題 評価比率50% 課題毎に提出。試験の受験・点数により評価出席率 評価比率50% オンライン講義への出席率により評価
履修上の注意	・ 原則自宅にて受講をする ・ オンライン講義を視聴後は必ず設問へ解答を行う ・ 設問への解答が確認できない場合は欠席扱いとする。(公欠などは除く) ・ 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	教科書の使用などは無し 毎回の講義でPowerPoint資料を用意 毎回の講義後に設問を用意

授業計画	
第1回	オリエンテーション 前半：講師紹介 後半：コロナ禍当初の日本の状況と音楽産業への影響
第2回	日本のコロナ禍と音楽産業への影響と変化 前半：日本のコロナ禍一年を振り返る 後半：コロナ禍による日本の音楽産業の変化
第3回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（台湾編） 前半：身近なアジアの国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍がアジアの音楽産業へもたらした影響と変化
第4回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（香港編） 前半：身近なアジアの国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍がアジアの音楽産業へもたらした影響と変化
第5回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（韓国編） 前半：身近なアジアの国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍がアジアの音楽産業へもたらした影響と変化
第6回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（中国編） 前半：身近なアジアの国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍がアジアの音楽産業へもたらした影響と変化
第7回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（アメリカ編） 半：欧米諸国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍が欧米諸国の音楽産業へもたらした影響と変化
第8回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（カナダ編） 前半：欧米諸国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍が欧米諸国の音楽産業へもたらした影響と変化
第9回	世界のコロナ禍と音楽産業への影響と変化（ヨーロッパ編） 前半：欧米諸国とコロナ禍当初の状況 後半：コロナ禍がアジアの音楽産業へもたらした影響と変化
第10回	コロナ禍を象徴する次世代のアーティスト（オーディション） 前半：講談社主催ミスiD2022グランプリを受賞した香港アイドルまほを取り上げます（予定） 後半：SB社主催GoToStARDOM準グランプリを受賞したメイ。を取り上げます（予定）
第11回	コロナ禍で生まれた新しい音楽産業のカタチ① 前半：ライブ配信アプリやVRなど、コンサートに代わるテクノロジーの発達事例 後半：配信はコンサートに代わる体験になり得たのか？今後の行方など
第12回	コロナ禍で生まれた新しい音楽産業のカタチ② 前半：コロナ禍における新しいコンサート運営の事例 後半：ウィズコロナ、アフターコロナに求められるコンサートのカタチ
第13回	コロナ禍を生きる音楽関係者インタビュー 内容：業界関係者インタビューで生きた情報を得る。
第14回	コロナ禍で求められる音楽業界で生きる力と自己PR力 前半：コロナ禍における音楽業界の雇用状況と現実 後半：コロナ禍で求められる音楽業界で生きる力と自己PR力
第15回	前期試験対策 / 前期講義振り返り